

# 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

| 番号  | 運営目標  |
|---|---|
| <b>「海の京都」構想の推進</b>                              |   |
| <b>1 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)</b>     |   |
| <b>(1)海の京都構想・丹後「日本海観光」プロジェクトの推進</b>             |   |
| 1   | 「大交流」の時代に向けて、観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指し、強い集客力を持つ新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。             |
| 2   | 「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。   |
| 3   | 畜産体験と丹後半島の海と山・高原の観光資源が一体となった碓高原牧場を活用します。  |
| <b>(2)海の京都構想・「丹後・食の王国」プロジェクトの推進</b>             |   |
| 4   | 丹後あじわいの郷を「丹後・食の王国センター」に位置付け、「食」の産業おこしを進めます。   |
| 5   | 競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を増強します。 |
| 6   | 地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。   |
| <b>2 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)</b>       |   |
| <b>(3)海の京都構想・丹後ちりめん等織物業の振興</b>                  |   |
| 7   | 丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。   |
| <b>3 環境と文化の伝承</b>                               |   |
| <b>(1)海の京都構想・丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる</b>       |   |
| 8   | 山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を目指すとともに、地域住民を主体とした取組を通じて、学術・観光資源として活用し、丹後の魅力発信につなげます。            |
| 9   | 天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。  |
| <b>(2)海の京都構想・地域文化の伝承</b>                        |   |
| 10  | 若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。                           |
| <b>4 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)</b> |   |
| <b>(3)海の京都構想・より利用しやすい公共交通ネットワークの実現</b>          |   |
| 11  | 市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。                                       |
| <b>1 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)</b>     |   |
| <b>(2)「丹後・食の王国」プロジェクト(丹後・食の王国構想の実現に向けて)</b>     |   |
| 12  | 丹後の特色をいかした「丹後あじわい食」等のこだわり食材を活用し、食関連ビジネスを創出します。  |
| 13  | 和牛振興基地をめざした牧場づくり(和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大)を推進します。                                  |
| <b>(3)「食」を支える基盤づくり</b>                          |   |
| 14  | 新たに就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や国営開発農地等での畑作営農等を支援します。                                    |
| 15  | 野生鳥獣被害の半減を目指し、捕獲と地域ぐるみの防除による総合的な対策を推進します。   |
| 16  | 環境にやさしい農業を推進します。  |

|  |  |
|--|--|
| <b>2 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)</b>        |  |
| <b>(1)中小企業へのステップアップ支援</b>                        |  |
| 17   | 新たな雇用を創出するため、新規求人者数8,000人を目指すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポートを実施します。 |
| <b>(2)「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用</b>        |  |
| 18   | 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。                   |
| <b>3 環境と文化の伝承</b>                                |  |
| <b>(1)丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる</b>               |  |
| 19   | 森林の公益的機能の確保と府民ぐるみの取組を推進します。  |
| 20   | 丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。                                    |
| <b>4 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)</b> |  |
| <b>(1)人権の尊重、地域力再生・NPOとの協働</b>                    |  |
| 21   | まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業等を活用し、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。   |
| <b>(2)命の里の再生とふるさと保全活動</b>                        |  |
| 22   | 農山漁村への移住・定住の取組を進めます。   |
| 23   | 地域住民自らが描く村の将来像の実現に向けた活動や地域ぐるみで行う「ふるさと」再発見の取組を支援します。                        |
| <b>5 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり</b>                 |  |
| <b>(1)保健医療</b>                                   |  |
| 24   | 府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」として、さらに連携を強化するとともに、地域の保健医療体制の整備を支援します。         |
| 25   | 「たんご健康長寿日本一」を推進します。  |
| 26   | 家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。  |
| <b>(2)高齢者、障害者及び子育ての支援</b>                        |  |
| 27   | 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。                                       |
| 28   | 障害者の自立と社会参加を支援します。   |
| 29   | 少子化対策や健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。  |
| <b>(3)自殺のないまちづくり</b>                             |  |
| 30   | 自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進し、自殺者数を昨年より減少させます。                                     |
| <b>(4)安心安全な消費生活の実現</b>                           |  |
| 31   | 安心・安全な消費生活の実現を図ります。  |
| <b>(5)安心安全のまちづくり(河川整備、土砂災害対策等)</b>               |  |
| 32   | 市町の地域防災計画の見直しや地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。                                 |
| 33   | TPY-2レーダー(Xバンド・レーダー)施設の設置に係る地域の安心・安全を確保します。                                |
| 34   | 遊泳者及びプレジャーボートの事故防止等により、海の利用についての安心・安全な環境づくりを推進します。                         |
| 35   | 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。  |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |  |  |      |
|------------|-------|--|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 1  | 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)   |      |
|            | 重点施策等 | (1)  | 海の京都構想・丹後「日本海観光」プロジェクトの推進  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 1  | 「大交流」の時代に向けて、観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指し、強い集客力を持つ新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。  |      |
|            |       | 小項目  | <p>①2市2町の戦略拠点において策定されたマスタープランの実現に向けた取組を支援するとともに、「交流」の基盤となる戦略拠点をつなぐ事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「海の京都」の戦略拠点と調和した基盤整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立周辺の歩行空間整備：宮津養父線(文珠地区)[完了]、天橋立線(府中地区)[完了]</li> <li>天橋立公園の施設整備(休憩所、トイレ、照明、サイン、ベンチ、屋外卓)[完了]</li> <li>加悦岩滝自転車道線 道路整備[完了]</li> <li>地域住民とのワークショップにより「ちりめん街道」と調和した河川改修(加悦奥川[天神橋詳細設計着手])</li> <li>伊根浦地区周辺の道路整備(伊根港線[事業着手])</li> <li>久美浜一区周辺の道路修景整備[完了]</li> <li>かぶと山展望台の施設整備[完了]</li> </ul> </li> <li>各市町が実施する関連事業(宮津市天橋立駅改築、伊根町交流施設、京丹後市かぶと山園地整備等)の整備促進</li> <li>「海の京都景観事業」を活用した関連施設の外装改修等景観形成支援</li> </ul> <p>－KTRの駅を起点とした地酒や食等地域の様々な資源を組み合わせた魅力あるツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「海の京都」の地酒とたからもの巡りツアー 3回</li> </ul> <p>－山陰海岸ジオパークの観光資源としての有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白南風荘跡地の活用検討</li> <li>山陰海岸ジオパークを巡る女子旅ツアー等 3回</li> </ul> <p>－海の京都観光推進協議会と連携した「海フェスタ京都」関連事業の取組及び平成27年度開催の「海の京都博」の準備</p> |      |
|            |       | 小項目  | <p>②地域の関係団体やスポーツ関連団体等と広く協働し、スポーツ観光を通じた個性あるまちづくりを推進し、交流人口の増加や地域活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要スポーツイベントの総参加者数12,000人</li> </ul>  |      |
|            |       | 小項目  | <p>③「海の京都」の歴史の拠点づくりを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化の振興を図るため、丹後郷土資料館の全面リニューアルに向けた基本構想の策定</li> <li>展示環境、史跡国分寺跡の整備</li> <li>海の歴史や大陸との接点などを紹介する特別展「大海中に倭人あり」のほか3企画展等の開催支援</li> </ul>  |      |
|            |       | 小項目  | <p>④主たる滞在促進地域を有する丹後地域において、海の京都ならではの「おもてなし精神をもった」観光ガイドやサービスの提供ができるよう人材育成を図るなど、海の京都観光推進協議会と連携した取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おもてなし力」向上のため、京丹後おかみさん会や丹後語り部の会と連携したセミナー等の実施 5回、参加者100人</li> <li>海の京都観光推進協議会と連携し「海の京都検定」の実施及び「海の京都ガイド」を養成するとともに、観光関連施設従業員向けの「おもてなし」講座を開催 開催2回、参加者100人</li> </ul>  |      |
|            |       | 小項目  | <p>⑤次世代を担う青少年の国際交流の促進及び海の京都への観光リピーター確保を目的に、学校交流や民泊スタイルでの自然体験等地域の観光資源を活かした海外からの教育旅行の受入を実施します。</p>   |      |
|            | 小項目   | <p>⑥山陰近畿自動車道・野田川大宮道路の開通に向けて、平成28年度を第2のターゲットイヤーと位置付け、交流人口の増加策や地域活性化策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹後地域における集中的な取組の検討</li> </ul> |  |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|             |          |   |
|-------------|----------|---|
| <b>運営目標</b> | <b>2</b> | <b>「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。</b>  |
|             | 小項目      | <p>①丹後半島に点在する『海の京都』戦略拠点である「天橋立」「伊根の舟屋」「夕日ヶ浦」や、「経ヶ岬」「丹後松島」等の景観地を大型バスで周遊することを可能にする国道178号の整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒲入バイパス[H27年度完成]、上野平バイパス[事業着手]、木津バイパス[事業着手]、里波見工区[物件移転完了]</li> <li>・法面防災工事の促進(4箇所発注、2箇所完成)</li> </ul> <p>②山陰近畿自動車道(大宮森本IC)から、「丹後あじわいの郷」やジオパーク拠点「立岩・琴引浜」等の丹後半島の観光拠点へのアクセス道路の整備を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道482号(丹後弥栄道路【弥栄工区:H27年度完成、丹後工区:事業着手】、(大山地区)[H27年度完成]、網野峰山線(郷地区)、掛津峰山線(丹波工区)[事業着手]</li> </ul> |
| <b>運営目標</b> | <b>3</b> | <b>畜産体験と丹後半島の海と山・観光資源が一体となった碓高原牧場を活用します。</b>  |
|             | 小項目      | <p>①府民に親しまれる憩いの牧場づくりのため、牧草地など牧場景観の一層の向上と新たな観光資源としてのラベンダー畑の整備・管理を行うとともに、積極的な情報発信による観光客の増加を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数 30,000人</li> <li>・畜産ふれあいファーム開催 1回</li> </ul> <p>②家畜防疫に配慮しつつ、放牧牛やふれあい家畜の更なる見える化を進め、生態展示を取り入れた幼稚園児、保育所児、小学生の学習見学や小中高生の畜産体験学習の受け入れを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ者数 350人</li> </ul>   |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 1   | 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)   |      |
|            | 重点施策等 | (2) | 海の京都構想・「丹後・食の王国」プロジェクトの推進  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 4   | 丹後あじわいの郷を「丹後・食の王国センター」に位置付け、「食」の産業おこしを進めます。  |      |
|            | 小項目   |     | <p>①丹後地域の持つ良質で豊かな地域資源である「食」をテーマに、丹後あじわいの郷を核として、農林水産加工商品の開発・販売から地域の食を支える人材育成を展開する10次産業化の拠点づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹後10次産業化推進協議会(仮称)の設置</li> <li>・丹後食材を活かした加工品等の開発、販売支援</li> <li>・実践的・総合的な研修・訓練を行うための施設や6次産業化にチャレンジするための施設を整備</li> </ul> <p>②「丹後あじわいの郷」の地域連携農産物集荷・販売システムの継続的かつ安定的な流通ルートの確立を支援し、都市圏へ共同出荷する機能を強化することで「食」の販売拠点化を進めるとともに、販売・マーケティングを支える人材育成を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間出荷額 13,000千円以上</li> </ul>  |      |
|            | 小項目   | 5   | 競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を増強します。  |      |
| 運営目標       | 小項目   |     | <p>①みず菜、九条ねぎなど「ほんまもん京ブランド」品目等競争力のある農産物の生産拡大を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間出荷額 3.8億円</li> <li>・京たんご梨ブランド出荷率 32%</li> </ul> <p>②良食味生産技術の普及による丹後産コシヒカリの特A評価を史上初の4年連続取得し、通算12回を達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良食味共励会の出品者数120名以上</li> <li>・栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信22回</li> </ul> <p>③京のブランド産品「祝・京の酒」に使用する酒米「祝」の生産拡大を、京都酒米振興プロジェクト丹後部会での栽培技術向上の取り組み等を通じ推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積 64ha</li> <li>・生産量 240t</li> </ul> <p>④ブランド水産物の生産を拡大します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「丹後とり貝」、「丹後ぐじ」、養殖イワガキの販売総額 60百万円(丹後管内)<br/>(参考)府全体106百万円</li> <li>・漁業者によるトリガイ養殖種苗生産数 3万個</li> <li>・養殖トリガイの歩留向上に向けたタスクチーム活動の強化と東北大学等との連携による高水温に対応した育成技術の開発</li> <li>・簡易検査キット導入による貝毒プランクトン発生状況のモニタリング体制の確立</li> </ul> |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|             |          |  |
|-------------|----------|--|
| <b>運営目標</b> | <b>6</b> | <b>地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。</b>   |
|             | 小項目      | ①「丹後といえば、美味しいものを食べに行くところ！」のイメージ定着に向け、関係団体や事業者と連携し普及・推進を図ります。<br>・各種イベントや観光ツアー等での「長寿御膳・弁当」販売・提供 10回<br>・丹後食材のファミリーブランド化 統一パンフ作成3シリーズ(フルーツ、地酒、海産物)<br>・旅行パンフレットへの「丹後あじわい食(ばらずし・マリッジ半島あじわい食等)」クーポン掲載による情報発信<br>・新鮮な魚介類をその場で食べることができる場の設置 2件 |
|             | 小項目      | ②「海の京都」丹後・食の王国の魅力発信に向け、ビジネス連携推進会議・関係機関と連携し、特A評価11回獲得の丹後産コシヒカリPRや、丹後ブランドにつながる「こだわり産品」の首都圏等での販促活動及びPR展開により地域ブランディングを推進します。<br>・「丹後のたからもの展」開催 3回<br>・首都圏等でのPR・販促活動 8回   |
|             | 小項目      | ③丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を展開します。<br>・売上高 500万円  |
|             | 小項目      | ④鹿・猪肉の安定供給を推進するため市町と連携し、食資源としての有効利用を進めます。<br>・管内提供店舗 20店舗  |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |   |  |      |
|------------|-------|---|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 2   | 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)   |      |
|            | 重点施策等 | (3)   | 海の京都構想・丹後ちりめん等織物業の振興   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 7   | 丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。  |      |
|            |       |   | ①丹後ブランドの新たな展開を図るため、外部デザイナーの指導のもと競争力ある新商品開発や地域を訪れる観光客にも魅力的な商品開発などに向け、ものづくり支援と企業育成を行います。<br>・37企業        |      |
|            |       |   | ②「丹後のたからもの展」などの展示商談会を東京、大阪などの大消費地で開催し、丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築につなげます。<br>・展示商談会 20回開催                     |      |
|            | 小項目   |   | ③炭素繊維強化プラスチック等の実用化研究や試作を企業と共同して進めるとともに、機械金属と織物のものづくり企業の新たな分野へのチャレンジに向けた技術的課題に対して支援します。<br>・試作等事業支援件数8件 |      |
|            |       |   | ④伝統産業生産基盤支援制度等を活用し、丹後織物企業等の経営支援に取り組みます。  |      |
|            |       |   | ⑤3Dプリンターや高精度三次元測定機等を活用し、デジタルデザイン力の向上を図るとともに、高精度・高品質な付加価値の高い部品市場への参入企業を支援します。                           |      |
|            |       | ⑥丹後織物の技術を活かすことにより、海外でも受け入れられる製品を新たに開発し、海外への販路拡大に意欲のある企業を支援します。<br>・支援企業数 3社 |  |      |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 3   | 環境と文化の伝承   |      |
|            | 重点施策等 | (1) | 海の京都構想・丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 8   | 山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を目指すとともに、地域住民を主体とした取組を通じて、学術・観光資源として活用し、丹後の魅力発信につなげます。   |      |
|            | 小項目   |     | <p>①地域住民の意見も反映したモニターツアーやそれに伴う情報発信により、丹後地域のジオパークへの誘客を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市内のジオスポットを巡る女子旅ツアー 1回【再掲】</li> <li>・海の京都観光推進協議会と連携した観光プロモーション、旅行商品等の開発を実施</li> <li>・リニューアル車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアー 2回【再掲】</li> <li>・白南風荘跡地の活用検討【再掲】</li> </ul> <p>②山陰海岸ジオパーク世界認定やAPGNシンポジウム開催に向け、京丹後市や山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携した取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界審査再認定</li> <li>・主要道から効果的に案内誘導する道路案内標識を設置 10基</li> <li>・ジオサイトかぶと山展望台の施設整備【再掲】</li> </ul> |      |
| 運営目標       |       | 9   | 天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。   |      |
|            | 小項目   |     | <p>①行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃を行うとともに、広葉樹の伐採を実施するなど白砂青松の天の橋立復活を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天橋立まもり隊などの活動延べ人数4,500人</li> <li>・試験伐採の検証結果をもとに、広葉樹の伐採を継続的に実施</li> </ul> <p>②「阿蘇海フェア」や上流と沿岸の交流事業、地域外企業と連携した清掃など阿蘇海流域の環境改善に係る意識醸成を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係市町における「阿蘇海流域の環境保全に資する条例」の制定支援</li> <li>・阿蘇海流域環境改善に係る連携事業 4事業</li> </ul>  |      |



平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 3   | 環境と文化の伝承   |      |
|            | 重点施策等 | (2) | 海の京都構想・地域文化の伝承   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 10  | 若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。  |      |
|            | 小項目   |     | ①国民文化祭以来開催している「丹後・食の王国 食と文化の祭典」や今年度新たに開催する「阿蘇海フェア」などに企画段階から高校生に参画してもらうなど、次代を担う若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」を推進します。<br>・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」及び「阿蘇海フェア」参加者 4,800人<br>・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」及び「阿蘇海フェア」協力地域団体数 70団体・事業者<br>・「丹後・食の王国 食と文化の祭典」及び「阿蘇海フェア」参画高校生 200人 |      |
|            |       |     | ②市町や各種団体が行う伝統行事や文化関連イベント等を一体的に広報するなど開催を支援します。<br>・広報する関連イベントの総参加者:100,000人   |      |
|            |       |     | ③市と共同して文化の仕掛人を配置し、地域資源を活用した文化芸術活動を企画、運営することで、地域の文化活動を活性化させます。<br>・文化の仕掛人が中心となって若者が地域活性化の取組を協議する住民参加型ワークショップ等の開催 5回   |      |

|            |       |     |   |      |
|------------|-------|-----|---|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 4   | 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)  |      |
|            | 重点施策等 | (3) | 海の京都構想・より利用しやすい公共交通ネットワークの実現  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 11  | 市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。   |      |
|            | 小項目   |     | ①新たに運行する「くろまつ」等リニューアル車両を活用した企画列車の運行や子ども向けのイベント列車の運行、山陰海岸ジオパークを巡るツアーなどを企画・実施します。<br>・ご当地キャラ等を活用した子ども向けイベント列車の運行 2回<br>・リニューアル車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアー 2回【再掲】                                   |      |
|            |       |     | ②KTRの駅を起点とした地酒や食等地域の様々な資源を組み合わせた魅力あるツアーの実施します。【再掲】<br>・「海の京都」の地酒とたからもの巡りツアー 3回【再掲】  |      |
|            |       |     | ③駅舎トイレ改修などの環境整備のほか、愛称命名や花壇整備、駅中交流スペースの創設など住民参加の魅力ある駅舎づくりを支援するとともに、地域食材を活用した駅弁販売や鉄道ファンを対象としたイベントなどを実施し、地域住民に親しまれる鉄道づくりを進めます。<br>・魅力ある駅舎づくりや鉄道ファンイベント実施等の支援 20駅<br>・サポーターズクラブ等の会員年間10,000人を獲得 |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 1   | 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)   |      |
|------------|-------|-----|--|------|
|            | 重点施策等 | (2) | 「丹後・食の王国」プロジェクト<br>(丹後・食の王国構想の実現に向けて)  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 12  | 丹後の特色をいかした「丹後あじわい食」等のこだわり食材を活用し、食関連ビジネスを創出します。   |      |
|            | 小項目   | ①   | 丹後アグリビジネス地域ネット(仮称)を設立し、丹後の食を活かした異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化、ソーシャルビジネスなどの取組を支援します。<br>・丹後アグリビジネス地域ネット(仮称)を設立<br>・取組支援件数20件                               |      |
|            |       | ②   | 食関連ビジネスの拡大のため食品関連企業の参入を支援します。<br>・参入支援 1件以上  |      |
|            |       | ③   | 平成24年度設立「丹後・食の王国ビジネス連携推進会議」の活動と連携し、丹後産品PRや新商品開発等の地域内のビジネス共同運営の取組みを支援します。<br>・地域内ビジネス共同運営の取組継続支援 2組織  |      |
|            |       | ④   | 加工品や農産物をはじめ地域の特産物のビジネスチャンスを創出し販路開拓を支援します。<br>・都市圏等での商談会等への出展による販売促進の支援 4回  |      |
| 運営目標       |       | 13  | 和牛振興基地をめざした牧場づくり(和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大)を推進します。   |      |
|            | 小項目   | ①   | 遺伝能力の高い子牛の安定供給と優良受精卵供給増のため優良雌牛の導入を図るとともに、「和牛子牛育成マニュアル」による付加価値を高めた子牛を育成し、府内肥育農家の良質な牛肉生産を支援します。<br>・子牛出荷頭数 65頭、生産頭数 70頭、妊娠頭数 75頭<br>・優良和牛雌牛導入 8頭以上 |      |
|            |       | ②   | 和牛受精卵(胚)のPR(供胚牛紹介)や受精卵移植未実施農家での利用や農家採胚を進め、受精卵の供給を図るとともに、和牛妊娠牛譲渡を実施します。<br>・受精卵譲渡目標 300個<br>・和牛妊娠牛譲渡目標 13頭  |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|                    |              |  |  |             |
|--------------------|--------------|--|--|-------------|
| <b>地域<br/>振興計画</b> | <b>基本方針</b>  | <b>1</b>   | 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)                 |             |
|                    | <b>重点施策等</b> | <b>(3)</b>   | <b>「食」を支える基盤づくり</b>                                | <b>基本目標</b> |
| <b>運営目標</b>        | <b>小項目</b>   | <b>14</b>  | 新たに就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や国営開発農地等での畑作営農等を支援します。 |             |
|                    |              | ①新規就農者を育成する農業法人等の担い手育成機能の強化を支援します。<br>・第1期丹後農業実践型学舎生の新規就農を支援<br>・新規就農希望者の研修を行う農業法人数 6法人  |  |             |
|                    |              | ②農業を支える多様な担い手を確保育成します。<br>・新規就農者数 30名<br>・新規就農希望者等の農業基礎知識の習得度 90%  |  |             |
|                    |              | ③若手農業者による自主的な経営能力向上を支援します。<br>・若手農業者による自主的な課題の抽出とセミナー開催による課題解決2テーマ   |  |             |
|                    |              | ④集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門等の売上アップを支援します。<br>・京野菜部門の売上が増加した法人数2社以上  |  |             |
|                    |              | ⑤実践研修により基幹漁業(定置網、底曳網)等の就業者を確保するとともに、次世代を担う人材育成の拠点づくりを進めます。<br>・新規就業者数 42名(府全体)<br>・次世代人材を育成する「海の民学舎(仮称)」の平成27年度開校に向けた設立準備  |  |             |
|                    |              | ⑥収益性の高い大規模畑作経営を実践するため、丹後国営開発農地の営農条件を整備し、丹後農業実践型学舎の運営を支援します。<br>－丹後農業実践型学舎の研修用農地の土壌改良・排水対策・獣害対策等を実施します。<br>・整備面積 20ha<br>－国営開発畑における担い手育成のために学舎生を受け入れ、開発畑における野菜栽培技術や商品開発手法等を習得する支援を行う。<br>・2期生10名の受け入れと、1期生の就農に向けたサポート強化 |  |             |
|                    |              | ⑦丹後地域特産物育成協議会と連携し、各作物4名以上の新規栽培者を拡大します。<br>・みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ4名、小ギク4名  |  |             |
|                    |              | ⑧茶産地基盤確立に向け、収益性を向上(荒茶量×単価)させ優良茶園化を推進します。<br>・モデル茶園10a当たり粗収益額40万円   |  |             |
|                    |              | ⑨国営農地でのタバコの品目転換を推進します。<br>・葉たばこに代わる導入品目の選定 実証ほの設置4品目<br>・収益性の高い品目(短形ゴボウ)の推進栽培面積拡大総面積5ha  |  |             |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|             |           |  |
|-------------|-----------|--|
| <b>運営目標</b> | <b>15</b> | <b>野生鳥獣被害の半減を目指し、捕獲と地域ぐるみの防除による総合的な対策を推進します。</b>   |
|             | 小項目       | ①地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害額をH25年度(90百万円)以下にします。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・防護柵設置延長 60集落、120km</li> <li>・ニホンザルの群れの個体数調整の実施 2群</li> <li>・関係機関と連携した獣害対策指導 指導員研修会の開催 1回</li> <li>・地域住民との協働による被害対策の推進(モデル集落) 2集落</li> </ul> |
|             |           | ②有害鳥獣の安定的な捕獲体制を確保します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・新規免許取得者数 20名</li> </ul>   |
|             |           | ③シカ等の生息数削減のための捕獲を推進します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟・有害による捕獲頭数 シカ4,500頭</li> <li>・捕獲講習会の開催 1回</li> </ul>  |
|             |           | ④有害鳥獣捕獲を支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>－複数猟友会の連携による広域捕獲の推進</li> <li>・兵庫県との連携による広域捕獲 2回</li> <li>・管内の猟友会の連携による広域捕獲 2回</li> <li>－民間隊員による鳥獣被害対策実施隊を編成し、有害捕獲体制の充実を図る。</li> <li>・民間隊員を含む鳥獣被害対策実施隊の編成・支援 3市町</li> </ul>      |
| <b>運営目標</b> | <b>16</b> | <b>環境にやさしい農業を推進します。</b>  |
|             | 小項目       | ①地域をあげた環境にやさしい農業を推進します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・エコファーマー数 累計324人</li> <li>・コウノトリも育む生物多様性フォーラム開催1回</li> <li>・コウノトリも育む生物多様性水稲展示ほ9カ所</li> </ul>   |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 2   | 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)  |      |
|------------|-------|---|---|------|
|            | 重点施策等 | (1)   | 中小企業へのステップアップ支援   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 17  | 新たな雇用を創出するため、新規求人者数8,000人を目指すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポートを実施します。  |      |
|            | 小項目   |   | ①「中小企業技術応援隊」と「中小企業応援隊」の連携によるオール丹後体制で、中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じた経営サポートを行います。<br>・応援隊による伴走支援件数 5,000件  |      |
|            |       |   | ②各種支援策を活用して、地域資源を活かした特色ある創業や経営改善等を支援します。<br>・支援事業採択件数 60件   |      |
|            |       |   | ③丹後Uターンセンターにおいて、北京都ジョブパーク等と連携し、U・Iターン就職を支援します。<br>・U、Iターン新規登録者数 165人<br>・U、Iターン就職者数 110人  |      |
|            |       |   | ④求人と求職のミスマッチの解消を図るため、ハローワークや北京都ジョブパーク等と連携し、就職面接会等を開催し、就業支援を行います。<br>・就職面接会の実施 5回<br>・参加企業社数 延べ150社<br>・参加者数 590人<br>・北京都ジョブパークと連携した即戦力となる新規福祉人材の養成、就職セミナー、施設見学会の開催による介護・福祉人材の確保や、小中高生等に対し福祉職場への理解を促進する取組による将来の福祉の担い手の育成します。 |      |
|            |       | ⑤「京都府北部福祉人材養成校」の整備を推進するとともに、福祉施設等の人材確保、育成及び人材定着等の取組を支援し、介護・福祉サービスの向上を図ります。<br>・福祉人材育成認証制度を活用した事業所の取組支援 支援件数15法人<br>・養成校の整備及び養成システムの構築に向けて、関係市町と連携支援します。 |   |      |

| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 2   | 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)  |      |
|------------|-------|---|---|------|
|            | 重点施策等 | (2)   | 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 18  | 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。  |      |
|            | 小項目   |   | ①織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材育成を行います。<br>・延べ5,000人  |      |
|            |       |   | ②(公財)京都産業21や業界団体と連携し、研修テーマや開催時期(夜間や土日の開催も含め)など企業ニーズや受講者ニーズ、地域の事情などを的確に反映し、各種研修会、講習会、研究会等を実施します。<br>・受講者延べ3,500人 |      |
|            |       | ③機械加工などの技能検定のための受検対策講座を開催し、技術力の向上を支援します。<br>・講座理解度90%以上 |   |      |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 3   | 環境と文化の伝承   |      |
|------------|-------|---|--|------|
|            | 重点施策等 | (1)   | 丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 19  | 森林の公益的機能の確保と府民ぐるみの取組を推進します。  |      |
|            | 小項目   |   | ①森林施業の集約化を図ります。<br>・森林経営計画樹立面積 170ha<br>・森林整備面積(間伐) 180ha  |      |
|            |       |   | ②地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の取組を推進します。<br>・推進地区 8地区<br>(海岸林の整備3地区:掛津、箱石、湊宮、人工林の整備1地区:大江山、竹林拡大防止地区1地区:男山、広葉樹の整備3地区:大江山、里波見、森本)<br>・参加人員 1,000人 |      |
|            |       |   | ③伐採した木材等について、新エネルギーとして活用します。<br>・木質ペレットストーブを丹後農業実践型学舎で設置する低コスト耐候性ハウスで試行導入 1箇所  |      |
|            |       |   | ④府内産木材の利用拡大を推進します。<br>・緑の事業体数 33事業体<br>・緑の交付金制度を利用した木材使用量 350m3  |      |
|            |       |   | ⑤地域と協働した海岸林の再生を図ります。<br>・整備面積 19ha   |      |
| 運営目標       |       | 20  | 丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。  |      |
|            | 小項目   |   | ①漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全します。<br>・25箇所<br>－府民や市町と連携し、海岸漂着物発生抑制を目的の調査や啓発活動を実施<br>－海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施                    |      |
|            |       | ②市町及び保健所広報誌での不法投棄防止啓発を積極的に行うとともに、監視パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶します。 |  |      |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 4   | 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)  |      |
|            | 重点施策等 | (1) | 人権の尊重、地域力再生・NPOとの協働  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 21  | まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業等を活用し、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。   |      |
|            | 小項目   |     | <p>①地域住民や市町村等の地域のまちづくり提案の実現を図るため、まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業、事業協定型事業等を活用し、府民協働によるまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業地域 10地域</li> <li>・加悦奥川の景観に配慮した整備計画に位置付けた「ちりめん街道水辺公園(仮称)」の運営協議会を立ち上げ、河川敷地の空間活用・維持管理等に係わる協議を継続し、ハード・ソフト一体となったまちづくりを府民協働で推進</li> </ul> |      |
|            |       |     | <p>②協働コーディネーター等による相談支援・情報共有や地域力再生プロジェクト支援事業による支援を通じて、地域力再生団体を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援団体数 延べ230団体</li> <li>・管内のNPO団体等が自らの取組を紹介し、団体間の交流を深める地域力再生イベントの開催</li> </ul>  |      |

|            |       |     |   |      |
|------------|-------|-----|---|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 4   | 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)   |      |
|            | 重点施策等 | (2) | 命の里の再生とふるさと保全活動   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 22  | 農山漁村への移住・定住の取組を進めます。  |      |
|            | 小項目   |     | <p>①過疎化・高齢化が急速に進む中で、移住・定住の取組を総合的に進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の人材の確保のため、市町と連携し田舎ぐらし体験ツアー、移住・起業相談会等を開催 10回</li> <li>・農山漁村地域の維持・再生を図るため、市町が主体となって取り組む、地域の受入体制づくりや空き家改修などによる移住者向け住宅の確保を支援 10件</li> </ul> |      |
|            |       |     | <p>②地域活性化に向け、未婚者の出会いや交流の場を提供する「コン活」に取り組む地域交流活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コン活ツアー開催支援 4地域</li> </ul>   |      |
| 運営目標       |       | 23  | 地域住民自らが描く村の将来像の実現に向けた活動や地域ぐるみで行う「ふるさと」再発見の取組を支援します。   |      |
|            | 小項目   |     | <p>①人と資源を最大限に活用した地域オリジナルの「一村一業活動」を展開する明日の「京都村」づくりの取り組みを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取組地区数 2地区</li> </ul>  |      |
|            |       |     | <p>②「ふるさとが教科書」学校などと連携して丹後の農林水産業等の体験学習を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに取り組む地区数 3地区</li> </ul>  |      |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |   |   |      |
|------------|-------|---|---|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 5   | 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり  |      |
|            | 重点施策等 | (1)   | 保健医療  | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 24  | 府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」として、さらに連携を強化するとともに、地域の保健医療体制の整備を支援します。  |      |
|            | 小項目   |   | ①北部地域医療・介護プロジェクトを推進し、在宅療養の体制の充実に向けた多職種連携を強化します。<br>・北部医療センターと丹後保健所の共催による府民公開講座の実施 4回<br>・病院と訪問看護、介護福祉施設等の連携を強化し、退院後の在宅療養の質の向上<br>・テレビ会議システムを活用し、京都市内と丹後を結び、専門知識を習得する研修や事例研究を通して介護スタッフのスキルアップを支援   |      |
|            |       |   | ②府立医科大学附属北部医療センター等と連携し、丹後管内の医療提供体制の充実・医療機能の整備に努めます。<br>・高度専門医療機能の充実(麻酔科医の派遣システム構築、がん治療診療環境改善)、患者サービスの向上<br>・北部医療センターの医師派遣機能の強化<br>・北部医療センターを核とした病病・病診管内の病院や診療所との連携等適切な機能分担、連携体制の構築<br>・在宅歯科治療など、医科歯科連携による在宅医療体制等の強化<br>・北部医療センターの、医療的ケアを必要とする障害児(者)の受入体制の整備<br>・京都府北部看護職支援センターや北京都ジョブパークと連携した看護職確保対策の推進 |      |
|            |       | ③北部医療センターを拠点に、若手医師の育成・定着支援を実施し、医療提供体制の充実・強化に努めます。<br>・北部公的病院における研修・研究用医療機器の共同利用の促進による医師確保<br>・健康長寿コホート研究の取組みを支援し、健康長寿づくりを推進 |   |      |
| 運営目標       |       | 25  | 「たんご健康長寿日本一」を推進します。   |      |
|            | 小項目   |   | ①がんの予防と早期発見・早期治療を進めるためにがん検診の受診勧奨を推進します。<br>・がん受診率の低い市町の受診率を30%以上に<br>-がん予防に関する知識の普及促進<br>-検診受診率の一層の向上をめざしたキャンペーン等の展開<br>・健康出前、キャンペーン等 13回<br>-事業所や学校との連携による「生命のがん教育」の拡大<br>・学校や企業における生命のがん教育の実施 5箇所<br>-「2」のつく日を「スワンデー」と銘打った禁煙デーのキャンペーン展開など、たばこ対策を推進  |      |
|            |       |   | ②元気な高齢者を増やすために「健康満丹プログラム」を普及します。<br>-健康満丹プロデューサーとともに、「健康満丹体操」を地域に広めるサポーターの養成<br>・プロデューサーを含めたサポーター養成者数 50人<br>-健康満丹体操を地域で取り組んでもらうモデル地区を選定し事業を展開<br>・モデル地区 2地区  |      |



## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|             |  |
|-------------|--|
| <b>運営目標</b> | <b>26 家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。</b>  |
|             | <p style="text-align: center;">小項目</p> <p>鳥インフルエンザ、口蹄疫等家畜伝染病のまん延を防止します。(まん延防止状況 0件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－海外悪性伝染病が万が一発生した時のまん延防止のために丹後地域の初動防疫体制を更に強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場立入、前線・対策基地・現地対策本部の設置・運営を情報伝達により一体となって実施する総合的な実地演習を実施</li> </ul> </li> <li>－農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底</li> <li>－農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底</li> <li>－家畜伝染病の発生状況や動向、対策等、予防・まん延防止のために必要な情報を農家等に提供</li> </ul> |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |   |      |
|------------|-------|-----|---|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 5   | 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり   |      |
|            | 重点施策等 | (2) | 高齢者、障害者及び子育ての支援   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 27  | 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。  |      |
|            | 小項目   |     | ①北部医療センターの「認知症疾患医療センター」と連携し、「認知症疾患医療協議会(仮称)」を立ち上げ、ネットワークによる認知症対策を推進します。   |      |
|            |       |     | ②地域包括ケア推進ネットを構築し、市町の地域包括ケアの取り組みを支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>-多職種協働による在宅医療、介護サービスの充実支援</li> <li>-住み慣れた地域で人生の最期を迎えられるよう、看取り対策を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅・施設・病院等における看取り支援体制の整備(リーフレット作成、シンポジウム開催、交流会開催等)</li> </ul> </li> <li>-認知症疾患医療センターを核とした認知症対策の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期認知症カフェの設置・事業支援 12箇所</li> <li>・徘徊搜索模擬訓練の支援 3箇所</li> </ul> </li> <li>-地域リハビリテーション支援センターとの連携を図り、地域リハビリの支援体制を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催や情報提供による地域リハビリや介護に従事する職員のスキルアップ、訪問リハビリ等地域リハビリの対応力向上</li> </ul> </li> </ul> |      |
|            |       |     | ③高齢者を支える社会基盤整備を支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームの整備2箇所 新規支援 1箇所</li> <li>・地域密着型の小規模多機能施設等の整備2箇所 新規支援1箇所</li> </ul>  |      |
| 運営目標       |       | 28  | 障害者の自立と社会参加を支援します。  |      |
|            | 小項目   |     | ①地域で自立した生活を行うためのグループホームの整備を支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・管内新規開設数 1箇所以上</li> </ul>   |      |
|            |       |     | ②障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・4年後の障害者雇用率2.2%に向け、平成26年度は2%の達成を目指し、東京都ジョブパークと連携して積極的に対象企業を訪問し啓発を実施します。</li> <li>・圏域での就職人数 34人以上</li> </ul>  |      |
|            |       |     | ③売れる製品づくりや、新たなほっとはあと製品の開発などにより、販売の促進と工賃アップを支援します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度管内平均工賃17,180円の10%以上</li> </ul>   |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|  |  |
|--|--|
| 運営目標   | 29 少子化対策や健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。   |
|  | <p>①発達障害児等とその親に対する支援の充実・強化を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-発達障害児の事後フォロー体制の充実</li> <li>-子どもクリニック(発達クリニック)、ほめ方教室などによる親子の絆づくりや子育ての支援</li> <li>-発達障害専門部会での途切れない一体的なネットワーク体制の強化</li> <li>-丹後地域発達支援フォーラムの開催</li> <li>-教育・福祉・医療・保健の連携             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめ方教室等参加者 対象者の5割以上</li> </ul> </li> </ul> |
|  | <p>②医療処置の必要な重症な子どもに対し、医療機関や保育、療育、教育機関等と連携し健やかな成長を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-重度障害児が病院から在宅へ安心して療養移行ができるよう、適切なリハビリや安心して在宅で生活できるように関係者会議を開催し、地域で支えるネットワーク、体制づくりを強化(在宅療養児支援連携事業)</li> <li>-ガイドブック・たんぽぽ手帳の理解と活用の拡大</li> <li>-定期的な医療的ケア部会及びケース検討会での検討</li> </ul>  |
|  | <p>③行政や各種団体等で構成する「丹後地域子育て支援ネットワーク」(65団体)を核に、安心して出産し、子育てできる地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-「丹後地域子育て支援ネットワーク」が自ら主体的に地域の子育ニーズに対応できるよう、自立型プラットフォームへの再構築を支援</li> <li>-「子育て応援隊(仮称)」の設立準備</li> </ul>   |
|  | <p>④病児、病後児保育を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-病児・病後児保育の新規開設の支援</li> </ul>  |
| <p>⑤未婚者の出会いや交流の場を提供する「コン活」に取り組む地域交流活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コン活ツアー開催支援 4地域【再掲】</li> </ul> |  |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 5   | 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり   |      |
|            | 重点施策等 | (3) | 自殺のないまちづくり   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 30  | 自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進し、自殺者数を昨年より減少させます。   |      |
|            | 小項目   |     | ①オール丹後の連携体制「みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク」(153団体)の取組を通じて、管内での自殺者数を昨年(21人)より減少させます。<br>-ネットワークを核とした効果的な広報・啓発、相談会の実施<br>-出講、ゲートキーパー研修、相談機関職員研修、かかりつけ医研修等の実施による、うつ、認知症、自殺予防についての理解の拡大とスキルアップ<br>・ゲートキーパー研修 受講者1,500人<br>-救急病院、消防、警察と連携した未遂者支援<br>-気軽に立ち寄り弱音を吐ける「居場所」づくり<br>・2箇所<br>-小中学生を対象とする予防教育の普及拡大<br>・3校 |      |
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 5   | 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)   |      |
|            | 重点施策等 | (4) | 安心安全な消費生活の実現   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 31  | 安心・安全な消費生活の実現を図ります。  |      |
|            | 小項目   |     | ①府民協働防犯ステーションなどの地域の団体や学校と連携し、積極的に地域に出かけて普及啓発を行い、被害の未然防止を図ります。<br>・出前講座の実施 30回  |      |

平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|            |       |     |  |      |
|------------|-------|-----|--|------|
| 地域<br>振興計画 | 基本方針  | 5   | 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)   |      |
|            | 重点施策等 | (5) | 安心安全のまちづくり<br>(河川整備、土砂災害対策等)   | 基本目標 |
| 運営目標       |       | 32  | 地域における防災力の向上や地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。  |      |
|            | 小項目   |     | <p>①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、地域における大規模災害時等の迅速な対応力の向上を図ります。<br/>         一 国の方針(計画見直し)へ対応するよう、市町地域防災計画の見直しを支援<br/>         一 防災訓練等の実施により、地域防災計画の検証や災害時における地域の対応力の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会避難責任者を対象とした「地域密着型」広域避難確認訓練の実施</li> <li>・津波避難訓練や講習会の開催など、丹後地域防災訓練の実施</li> <li>・福祉避難所コーナー設置に係る必要資機材の整備や防災・減災リーフレットの作成</li> </ul> |      |
|            | 小項目   |     | <p>②消防署からの遠隔地域で、消防団や市町と連携して、災害時の救助や傷病者などへの救急救助体制を確立する『ふるさとレスキュー』の取組を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援地域 6地域 [新規 1地域]</li> <li style="padding-left: 20px;">[継続 5地域] 由良地域(宮津市)、下宇川地域、野間地域、上宇川地域(以上、京丹後市)、蒲入地域(伊根町)</li> </ul>  |      |
|            | 小項目   |     | <p>③住民の防災意識向上、災害の記憶を風化させない取り組みを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年の台風23号災害から10年を迎えるにあたり、災害の記憶を風化させないため、民間商業施設等でのパネル展示や砂防ボランティア等と連携して小学校等において出前講座を開催し、1,000名の参加を目指す</li> </ul>   |      |
|            | 小項目   |     | <p>④住民の迅速な避難活動を支援するため、水位周知河川等の追加指定を行い、洪水時の警戒避難態勢を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水位周知予定河川全2河川:川上谷川(指定)、筒川(指定準備)</li> <li>・水防警報予定河川全2河川:久美谷川、小西川(指定準備)</li> </ul>  |      |
| 運営目標       |       | 33  | TPY-2レーダー(Xバンド・レーダー)施設の設置に係る地域の安心・安全を確保します。  |      |
|            | 小項目   |     | <p>①地域交通の安心・安全を確保するため、道路整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道178号(上野平バイパス)【再掲】、国道482号(丹後弥栄道路丹後工区)【再掲】</li> </ul> <p>②府、市、関係機関による現地の連絡体制を整え、地域住民の安心・安全の確保を図ります。</p>  |      |
| 運営目標       |       | 34  | 遊泳者及びプレジャーボートの事故防止等により、海の利用についての安心・安全な環境づくりを推進します。   |      |
|            | 小項目   |     | <p>①海水浴場の安心・安全な環境づくりに向けて、市町及び地元警察署と連携して「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止に関する条例」の周知を図り、安心・安全な環境づくりを推進します。</p>   |      |

## 平成26年度 丹後広域振興局 運営目標

|      |     |  |
|------|-----|--|
| 運営目標 | 小項目 | <b>35 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。</b>  |
|      |     | ①暮らしの安全を支えるため、浸水被害が頻発している河川の改修工事を推進します。<br>・加悦奥川[宮野橋完成]、新庄川(中田橋着手)、福田川、鳥取川、小西川   |
|      |     | ②くらしの安心・安全を支える土砂災害対策工事を推進(砂防・地すべり事業、急傾斜事業)し、防災・減災を図ります。<br><br>－土砂災害の発生若しくは恐れがある10箇所(砂防・地すべり事業)の推進(内2箇所完了、1箇所工事着手)<br><br>－崖崩れの発生若しくは恐れがある5箇所の急傾斜事業の推進(内2箇所工事着手)   |
|      |     | ③土砂災害のおそれがある区域を明確にし、警戒避難態勢の整備を進め、住民の安心・安全を支えます。<br><br>－土砂災害警戒区域等を450箇所指定(指定箇所数 2,749箇所) 【指定率75%⇒89%】  |
|      |     | ④災害と雪に強い道路ネットワークを整備し、災害時の避難・救助や物資の安定した供給が図れるようにします。<br>－緊急輸送道路の整備促進<br>・国道178号(蒲入バイパス)【再掲】、(上野平バイパス)【再掲】、国道312号(橋爪地区)、(野中地区)、国道482号(丹後弥栄道路)【弥栄工区:H27年度完成、丹後工区:事業着手】【再掲】<br>－緊急輸送道路である国道178号(宇川橋)[完成]、国道312号(橋爪橋)、網野峰山線(岩止橋)の耐震対策<br>・1橋完了2橋推進(全体73橋のうち、71橋完了)<br>－緊急輸送路以外の橋梁(50m以上)の耐震補強推進 久美浜湊宮浦明線(湊大橋)など<br>・2橋推進<br>－冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進<br>網野岩滝線(男山:スノーキーパー)[工事完成]、国道482号(尉ヶ畑:消雪パイプ)[工事着手]、<<宮津養父線(岩屋峠)[事業着手]>> |
|      |     | ⑤建築物の安心・安全の確保<br>－建築物の安心・安全の確保大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進<br>－府・市町が緊密な連携をとり、広報活動の強化により耐震診断の受診を推進し、診断済家屋に対して、簡易型改修を含めた耐震改修制度の案内を行うとともに、耐震診断結果の個別説明に職員が同席するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進を図る。<br>耐震診断 70戸<br>耐震改修(簡易型耐震改修を含め) 50戸<br>－一般府民向けに、市町及び建築関係団体との協働による民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的として耐震フェア開催   |
|      |     | ⑥公共土木施設災害復旧事業を推進します。<br><br>－災害復旧事業の早期完成<br>・25年発生災害46箇所の復旧工事を完了   |
|      |     | －平成25年台風18号で被害を受けた地区(山地・溪流)において、治山事業による重点的な復旧工事を推進<br>・復旧工事推進箇所 3箇所 内 復旧完了箇所 1箇所<br>・台風18号被害額296,000千円の内、復旧額 99,000千円 (3ヶ年で復旧予定)   |